

## 和歌山県医務課

# 和歌山県子ども救急相談ダイヤル （#8000）

## 令和元(2019)年度実績

### ■ 事業概要

夜間・休日に子供が急病になったとき、すぐに病院に行った方がいいのか、それとも様子を見て大丈夫か、看護師（必要に応じて医師）が相談に応じます。

### ■ 令和元(2019)年度相談時間

- 平日…19時～翌朝9時
- 土日祝・年末年始（12/29～1/3）…9時～翌朝9時

### ■ 電話番号

- #8000（プッシュ回線・携帯電話）
- 073-431-8000（ダイヤル回線・IP電話）

### ■ 補足

このダイヤルは、あくまで保護者の方々に助言を行うものであり、診断・治療や医療機関の紹介を行うものではありません。

医療機関の紹介は、「和歌山県救急医療情報センター」で行っています。

《和歌山県救急医療情報センター》

受診可能な医療機関を24時間体制で案内しています。

TEL:073-426-1199（いい救急）

# 1. 相談件数

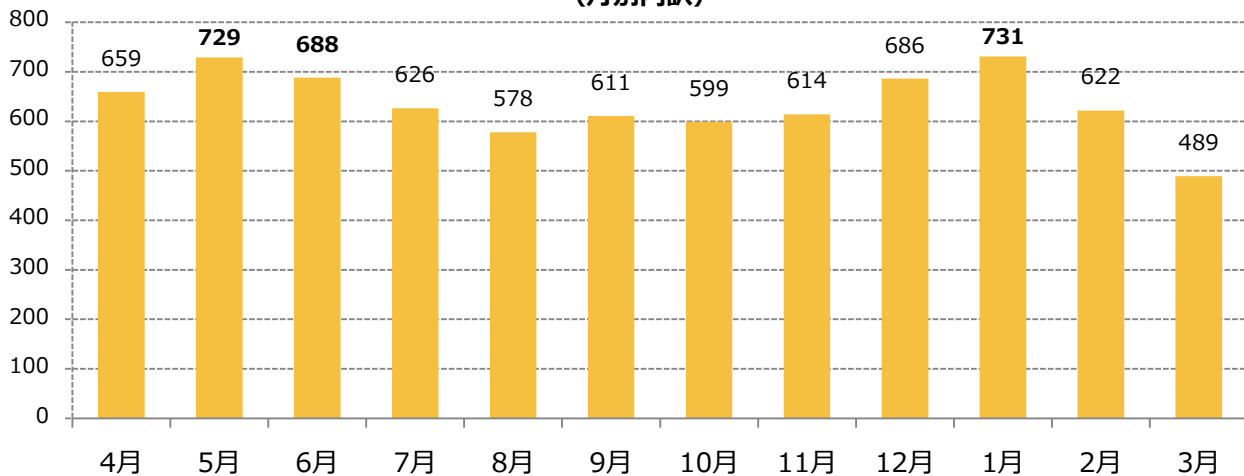
令和元年度は、累計7,632件の相談がありました。

月別では、1月が最も多く、次いで5月、6月の順で相談が多くなっています。

また、平成30年度と比較し、3月の相談件数が大きく減少し、令和元年度で一番少ない件数となりました。

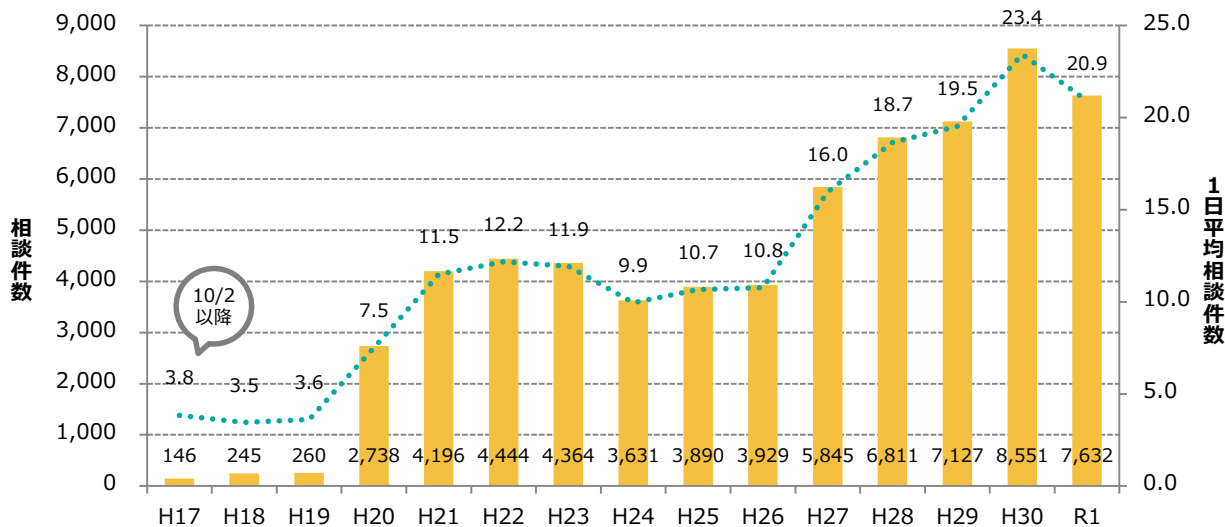
令和元年度累計	7,632件
---------	--------

(月別内訳)



# 2. 相談件数の推移

相談日や相談時間の拡大により、相談件数は増加傾向にありましたが、令和元年度については減少しました。（要因として、新型コロナウイルス感染症の専門相談窓口が設置されたことにより、#8000への相談が減少したと考えられます。）



相談  
実施日

日祝・年末年始：  
19時～23時

H20～相談日拡大  
毎日：19時～23時

H27～時間拡大

平日：19時～23時  
土日祝・年末年始：  
9時～23時

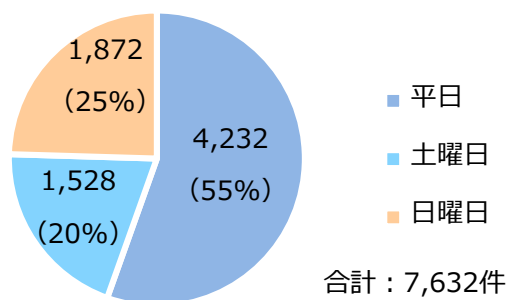
H30～時間拡大

平日：19時～翌9時  
土日祝・年末年始：  
9時～翌9時

### 3. 曜日別の相談比率

月～金曜（※）の相談が全体の約5割、土日の相談が約5割であり、土日の相談件数が多い傾向にあります。

（※）月～金曜日に設定されている祝日を含む



### 4. 時間帯別の相談比率

19時～21時の相談が最も多く、全体の約3割を占めています。

また、平成30年度から延長実施した相談時間帯（23時～9時）と従来から実施していた時間帯の利用割合は昨年度と同様ですが、利用件数は昨年度より減少しています。

令和元年度

①従来から実施していた時間帯			②H30から延長実施した時間帯		
相談時間帯	件数	割合	相談時間帯	件数	割合
9時～11時	308	4.0%	23時～1時	575	7.5%
11時～13時	328	4.3%	1時～3時	333	4.4%
13時～15時	383	5.0%	3時～5時	268	3.5%
15時～17時	452	5.9%	5時～7時	187	2.5%
17時～19時	625	8.2%	7時～9時	383	5.0%
19時～21時	2,364	31.0%			
21時～23時	1,426	18.7%			
<b>小計</b>	<b>5,886</b>	<b>77.1%</b>	<b>小計</b>	<b>1,746</b>	<b>22.9%</b>
<b>①・②の合計：7,632件（100%）</b>					

平成30年度

<b>小計</b>	<b>6,632</b>	<b>77.5%</b>	<b>小計</b>	<b>1,919</b>	<b>22.5%</b>
<b>①・②の合計：8,551件（100%）</b>					

## 5. 相談時間別の比率

1回あたりの相談時間は、96.6%が「10分未満」です。中でも「5分未満」62.8%と高い割合を占めています。

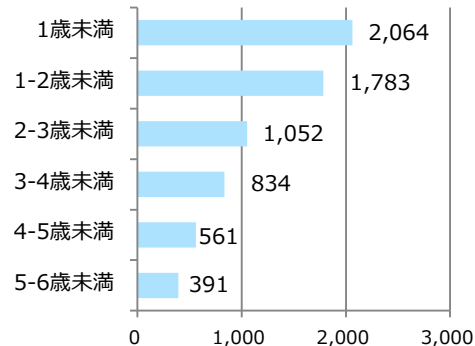
相談時間	件数	割合
0～5分未満	4,792	62.8%
5～10分未満	2,576	33.8%
10～15分未満	228	3.0%
15～20分未満	26	0.3%
20分以上	10	0.1%
<b>合計</b>	<b>7,632</b>	<b>100.0%</b>

## 6. 相談対象者の年齢構成

相談対象者の87.2%は、乳幼児です。とりわけ、0～2歳未満の乳幼児に関する相談が多く見られました。

年齢	件数	割合
乳幼児（0～6歳未満）	6,685	87.2%
小学生（6～13歳未満）	850	11.1%
中学生（13～15歳未満）	85	1.1%
その他	46	0.6%
<b>合計</b>	<b>7,666</b>	<b>100.0%</b>

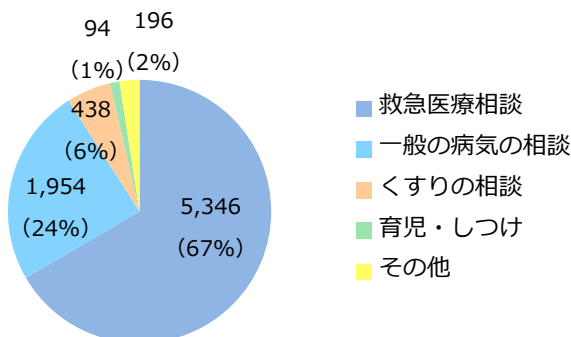
乳幼児の年齢別件数



※一度の相談につき相談対象者が複数名の場合があるため、合計値は年間相談件数と一致しない

## 7. 項目別の相談内容（※重複あり）

救急医療相談が67%と最も高く、次いで一般の病気の相談24%、くすりの相談6%、育児・しつけ1%となりました。



## 8. 症状別の相談内容（※重複あり）

発熱による相談が3,773件（33.0%）と最も多く、続いて外傷・刺傷1,414件（12.4%）、嘔吐1,111件（9.7%）となりました。

症状	件数	割合
発熱	3,773	33.0%
外傷・刺傷	1,414	12.4%
嘔吐	1,111	9.7%
咳嗽・喘鳴	684	6.0%
誤飲誤食	674	5.9%
発疹	600	5.3%
耳鼻科関連	480	4.2%
下痢	263	2.3%
頭部打撲	261	2.3%
腹痛	196	1.7%
けいれん	139	1.2%
眼科関連	130	1.1%
歯科口腔	99	0.9%
熱傷	88	0.8%
予防接種	72	0.6%
その他	1,441	12.6%
<b>合計</b>	<b>11,425</b>	<b>100.0%</b>

## 9. 対応内容

急ぎの受診を要しない一般的な保育指導・育児相談が3,776件（49.3%）と最も多くなりましたが、すぐに医療機関受診をすすめた件数も242件（3.1%）となっています。

また、119番をすすめた事例も55件（0.7%）発生しています。

対応	件数	割合
119番をすすめた	55	0.7%
すぐに医療機関をすすめた	2,040	26.6%
翌日の医療機関をすすめた	1,553	20.3%
一般的な保健指導・育児相談	3,776	49.3%
その他	242	3.1%
<b>合計</b>	<b>7,666</b>	<b>100.0%</b>